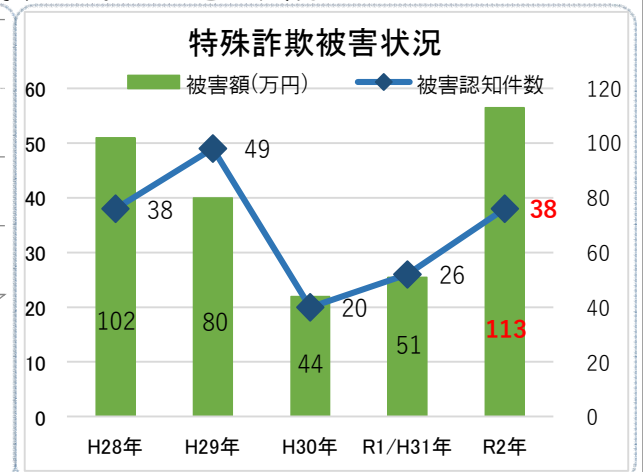
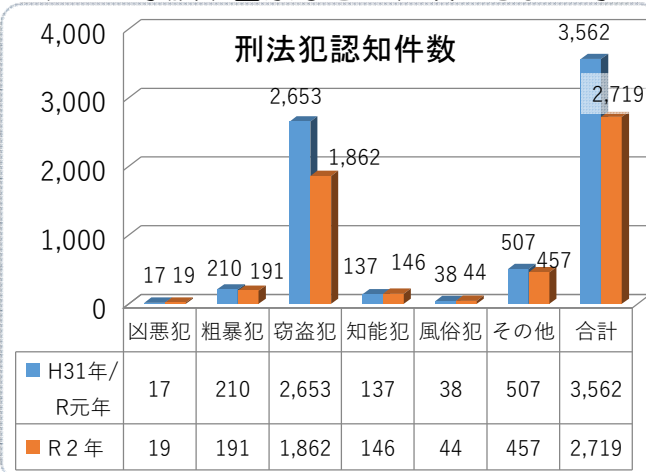


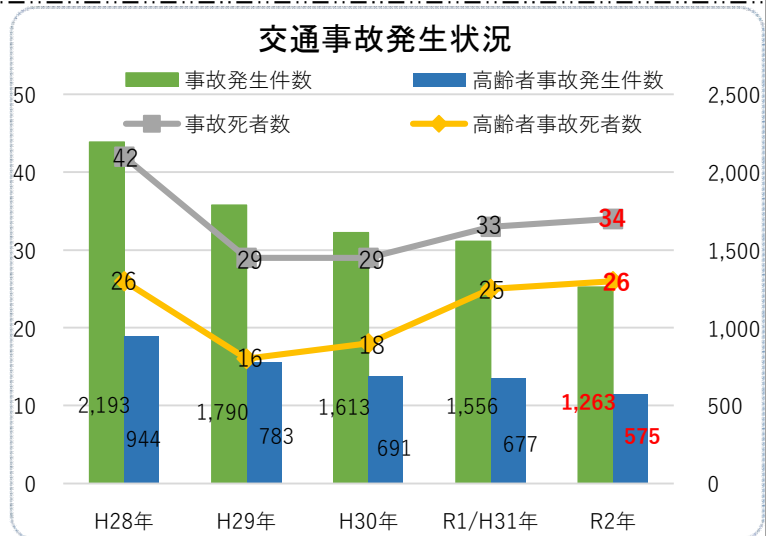
令和2年の犯罪や交通事故の状況について

令和2年、県内の刑法犯認知件数は2,719件と、前年に比べ843件の減少となりました。罪種別に見ますと、窃盗犯が1,862件と認知件数の多くを占めていることや、窃盗犯は、前年と比べて791件の減少となっている状況から、窃盗犯の減少が刑法犯の減少に大きく寄与していると言えます。窃盗犯の約4割を占めている「自転車盗」や「車上ねらい」といった乗り物に関する事実や、「住宅対象の侵入窃盗」による事実は、多くの場合が無施錠の状態、いわゆる鍵をかけていない状態で被害に遭っています。このことから被害を防止のためには、最も簡単で、かつ有効な対策である「鍵かけ」を呼び掛けていくことが大切です。

一方で特殊詐欺の被害は、認知件数38件、被害額約1億1,342万円と、前年に比べて件数・被害額ともに大きく増加しました。最も多い手口は、郵便やインターネットなどを利用し、ありもしない事実を口実に料金を請求する「架空料金請求詐欺」で、全体の約5割を占めています。特殊詐欺は、手口ごとに被害者の年齢層や被害金の交付形態等が異なりますので、必要な対策を的確に見定めることが大事です。体験型や実践型の広報啓発活動により、危険性を体感的に認知してもらい、不審な手紙や電話を受けた場合には、必ず家族や警察などに相談するよう呼び掛けていくことが大切です。



令和2年、県内の交通事故発生件数は1,263件と、前年に比べ293件の減少となりました。しかしながら、交通事故死者数は、前年に比べ1名増加の34名となっています。高齢者事故発生件数は、575件と発生事故全体の5割弱を占めており、事故死者数にいたっては、全死者の7割以上に当たる26名が高齢者となっています。これらのことから、今後も高齢者を中心とした交通安全対策を力強く推進していく必要があり、広報啓発活動や戸別訪問活動などの各種取組みをお願いします。



高知県安全安心まちづくり推進会議総会を開催

令和3年2月19日(金曜日)、本年度の高知県安全安心まちづくり推進会議総会を開催いたしました。総会は、間隔を空けた座席をあらかじめ指定する、使用都度にマイクを消毒するなど、十分に新型コロナウイルス感染症対策をとったうえで、表彰式と議事の2部構成で実施いたしました。

表彰式では、令和2年度の安全安心まちづくり功労団体等表彰とポスター入選作品の各受賞者に対し、推進会議会長の濱田高知県知事から表彰状が手渡されました。

また議事では、今年度、新たに構成員となられた7事業者の紹介が行われたほか、令和3年度の重点テーマや事業計画などを協議したうえ、承認をいただきました。



～表彰式の様子～



～議事の様子～

功労団体等受賞者

○団体の部

- ・タウンポリス西土佐
- ・高知南地区少年警察ボランティア協会横浜支部
- ・AKV (安芸高校防犯ボランティア)
- ・タウンポリス上ノ加江地区を守る会
- ・室戸市タウンポリス
- ・高知市秦地域安全推進協議会

○個人の部

- ・宅間芳仁氏 ・西岡勢津子氏 ・高野豊彦氏

ポスター入選受賞者

- 小学生の部 最優秀：新井結子さん
優秀：下村珠雅さん
- 中高生の部 最優秀：河田七海さん
優秀：藤田真登さん

承認された令和3年度重点テーマ

- 地域で子どもを見守ろう
- 特殊詐欺の被害を防ごう
- 高齢者などを事故や事件から守ろう
- 鍵かけ運動を進めよう

高知県交通安全推進県民会議交通安全功労者等表彰式を開催



～表彰式の様子～

高知県交通安全推進県民会議交通安全功労者等表彰は、昭和42年に設立され、例年、交通安全意識の高揚や交通事故防止などの交通安全活動の推進に関して、功績のあった個人や団体を表彰しています。令和3年2月18日(木曜日)、県内の交通安全活動に、特に顕著な功績のあった3個人と1団体が交通安全功労者(団体)として表彰されました。日頃から地道な活動を積み重ねてこられた皆様のご貢献に改めて敬意を表します。

□ 安全安心まちづくり会報 編集・発行者
高知県安全安心まちづくり推進会議事務局



□ 問い合わせ先
高知県文化生活スポーツ部
県民生活・男女共同参画課
〒780-8570 高知市丸ノ内1丁目2番20号
TEL 088-823-9319 FAX 088-823-9879
E-mail:141601@ken.pref.kochi.lg.jp

高知県犯罪のない安全安心まちづくりのページ
<http://www.pref.kochi.jp/soshiki/141601/azenanshin-index.html>